

4年 道徳の年間指導計画例 (2018年～2019年)

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
4月	1. 貝がら 〔相手のことを理解する〕 【主】B 相互理解, 寛容 【関連】B 友情, 信頼	◎個の違いを認め、互いに理解し合うことで友好の輪を広げる。 【理解, 判断力】 自分と友達の違いを認め、理解し合うことの大切さが分かる。 【心情】 友達のよいところをみて、理解し合うことのよさに心が動く。 【実践意欲と態度】 互いに理解し合うことで、新しい友達をつくらうという意欲をもつ。	1 友達のことを知る方法を考える。 2 「貝がら」を読んで、友達と理解し合うにはどうすればよいか考える。 3 新しい友達のことを知るにはどうすればよいかをまとめる。	○道徳の授業 ・「貝がら」を読んで、友達と理解し合うにはどうしたらよいか考えさせる。 ○学級活動 ・互いに認め合い、理解し合う学級をつくらうという意識で活動させる。 ○帰りの会など 友達のよいところを見つけて発表させる。
4月	2. みんなのためにできること 〔みんなのためにできること〕 【主】C 勤労, 公共の精神 【関連】C よりよい学校生活, 集団生活の充実	◎自分の役割と働くことの大切さを知り、みんなのために進んで働こうとする。 【理解, 判断力】 学校・家庭・地域社会のそれぞれについて自分の役割があることを理解する。 【心情】 働くことは、みんなのために役立つという喜びがあることに心が動く。 【実践意欲と態度】 働くことの大切さや尊さを知り、みんなのために働こうとする。	1 「みんなのためにできること」とは何かを考える。 2 「みんなのためにできること」を読んで、進んで仕事をするということについて考える。 3 「みんなのためにできること」について考えたことをまとめる。	○日常生活 ・普段の生活の中で、みんなのために働いている人を見つけさせる。 ○道徳の授業 ・「みんなのためにできること」を読み、働くことのよさについて考えさせる。 ○学級活動 ・「みんなのためにできる」仕事を考えて、計画を立てて行い、思ったことを発表させる。 ・「みんなのためにできる」ことをしている友達を見つけて、発表させる。
4月	3. サッカーボール 〔強い心〕 【主】A 善悪の判断, 自律, 自由と責任 【関連】A 正直, 誠実	◎よいことや正しいと思うことは、自信をもって行おうとする。 【理解, 判断力】 強い心は、自分で正しいことをよく考えて判断できたときに湧いてくるのが分かる。 【心情】 周りに流されず、自分が正しいと思ったことを実行するすばらしさを感じる。 【実践意欲と態度】 自分が正しいと思ったことを、自信をもって、強い意志で行おうとする。	1 善悪の判断について話し合う。 2 「サッカーボール」を読んで「強い心」について話し合う。 3 自分だったらどう行動するか考える。	○日常生活 ・悪いと分かってもやっちゃったり、正しいことができなかったりするときはどんなときか、アンケートを取っておく。 ○道徳の授業 ・「サッカーボール」を読んで、「強い心」について話し合わせる。 ○朝の会・帰りの会 ・「強い心」で行動できたときのことをノートに書かせておき、発表させる。 ・「強い心」で行動できている人を探し、そのような人を紹介させる。
5月	4. 十さいのプレゼント 〔美しいものに感動する〕 【主】D 感動, 畏敬の念 【関連】D 自然愛護	◎自然の美しさや偉大さに感動し、そのような心を大切にしようとする。 【理解, 判断力】 自然には、人間には創り出すことのできない美しさがあることを理解する。 【心情】 自然の美しさや偉大さ、不思議さに心を動かす。 【実践意欲と態度】 自然の美しさに感動できる心を大切にしようとする。	1 もらったらうれしいプレゼントを考える。 2 「十さいのプレゼント」を読み、お父さんがプレゼントしたかったものについて考える。 3 授業で分かったことや感じたことをまとめる。	○道徳の授業 ・教師が、身近にある自然の美しさを探しておく。 ・「十さいのプレゼント」を読み、自然には、人間には創り出すことのできない美しさがあることを理解する。 ○日常生活 ・自然の様子に目を向けて生活し、身近にある美しい自然を見つけて友達と紹介し合う。 ・自然の美しさを感じることができると写真や映像を探して、紹介し合う。 ○読書活動 ・自然の美しさや偉大さが紹介されている本を探し、友達と紹介し合う。
5月	5. さか上がり 〔このクラスでよかったな〕 【主】C よりよい学校生活, 集団生活の充実 【関連】A 希望と勇気, 努力と強い意志	◎先生や学校の人々が自分たちの成長を願って努力していることを知り、愛情を感じることで、先生や学校の人々を敬愛し、自分とクラスをよりよい方向へと高めようとする。 【理解, 判断力】 先生がたくさんのことを知り、いろいろなことができるのは、自分たちの成長を願い、努力しているからであることが分かる。 【心情】 励まし合い、友達の成功を喜び合えるクラスはよいクラスだという思いに共感する。 【実践意欲と態度】 先生や学校の人々を敬愛し、よりよいクラスをつくるために自分にできることを考え、行動しようとする。	1 自分たちのクラスのもっているよさについて話し合う。 2 「さか上がり」を読んで、みんなで協力し合って楽しいクラスをつくることの大切さについて話し合う。 3 自分たちのクラスをどうしたいかを考える。	○道徳の授業 ・「さか上がり」を読み、みんなで協力し合って楽しいクラスをつくることの大切さについて考えさせる。 ○日常生活・朝の活動 ・日常で目にした「クラスのよさ」をノートに記録させ、朝の会や帰りの会などで発表させる。 ○特別活動 ・自分たちのクラスのよさや問題点を出し合い、よりよいクラスをつくるためにできることを話し合わせ、それを実際に行う計画を立てさせる。
5月	6. お母さんのせいきゅう書 〔お母さんの心〕 【主】C 家族愛, 家庭生活の充実 【関連】B 感謝	◎父母や祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくらうとする。 【理解, 判断力】 家族が、どのような心を込めて家庭のために働き、尽くしてくれているかが分かる。 【心情】 家庭のために働き、尽くす心のすばらしさやありがたさを感じる。 【実践意欲と態度】 家庭のために自分のできることをしようとする。	1 家族がしてくれたことで、うれしかったことを思い出す。 2 「お母さんのせいきゅう書」を読んで、家族の思いについて考える。 3 自分の家族に照らして考える。	○道徳の授業 ・家族がどのような思いで、家庭のために尽くしているかを考える。 ○家庭との連携 ・家族が家庭のためにしてくれていることを調べたり、家庭外でどんな思いで仕事をしているのかインタビューしたりさせる。 ○日常生活 ・家の中の自分の役割について考え、家での生活を振り返らせる。 ・自分が家庭のためにできることを考えて実践させ、その感想を友達と交流させる。
5月	7. かさ 〔思いやりのリレー〕 【主】B 親切, 思いやり 【関連】B 感謝	◎相手の心を思いやり、進んで親切にしようとする。 【理解, 判断力】 親切にされるとうれしくなり、人に親切にすると自分も相手もうれしい気持ちになることが分かる。 【心情】 相手の心を思いやり親切にする人に対して、すばらしいなど感動することができる。 【実践意欲と態度】 相手の心を思いやり、進んで親切にしようとする。	1 親切な人について話し合う。 2 「かさ」を読み、思いやり、親切について考える。 3 親切な人についてまとめる。	○道徳の授業 ・「かさ」を読んで思いやり、親切について考えさせる。 ○学級活動 ・思いやりの心を使ったことで、起こったりできたりしたことを紹介させる。 ○日常生活 ・相手の気持ちを思いやることを意識して生活させる。 ○読書活動 ・読んだ本の中から思いやりの心を見つけて紹介し合わせる。
6月	8. ねがいをつみ上げた石橋 〔住むまちをほこりに思う心〕 【主】C 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度 【関連】C 勤労, 公共の精神	◎郷土の文化財について理解し、郷土の文化財を大切にし、引き継いでいこうとする。 【理解, 判断力】 郷土の文化財が現在でも残され、大切にされている理由が分かる。 【心情】 郷土の文化財に込められた願いや、大切に守っていかうとする人々の心に共感する。 【実践意欲と態度】 郷土の文化財を大切に、それを引き継ぎ、伝えていこうとする。	1 自分たちが住んでいるまちの「誇りに思うこと」について話し合う。 2 「ねがいをつみ上げた石橋」を読んで、郷土の文化財を守る大切さについて考える。 3 文化財に対する昔の人の願いについて話し合う。	○道徳の授業 ・「ねがいをつみ上げた石橋」を読んで、郷土の文化財を守っていくことの大切さについて考えさせる。 ○社会 ・郷土の学習や地域の文化財などの調査学習をさせ、地域に残る文化財やその特色、残っている理由について発表させる。 ○総合的な学習の時間 ・地域の文化財保護に関わる人々の意識などを話題にし、児童が課題をもって地域の文化財保護に参加する学習を設定する。 ・地域の文化財保護のために自分たちができることを考えさせる。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
	重点主題：きまりを守る心			
6月	9. どっちがいいか 〔みんなが気持ちよく〕 【主】C 規則の尊重 【関連】A 善悪の判断, 自律, 自由と責任	◎約束やきまりの意義を理解し, それらを守って生活しようとする。 【理解, 判断力】 ルールが「何のため」「だれのため」にあるかを理解する。 【心情】 相手や周りのことを考えて, ルールを自ら進んで守るよさを感じる。 【実践意欲と態度】 相手や周りのことを考えて, ルールを自ら進んで守ろうとする。	1 ルールについて考える。 2 「どっちがいいか」を読み, ルールの意義や目的を話し合う。 3 学習したことと自分の生活を重ねて, 「みんなが気持ちよくらす」ためのルールを考える。	○学級活動 ・事前に一人ひとりが学級遊びのルール案を考え, 計画とルールなどを決める話し合いをする。 ・学級遊びの後で, ルールなどについての感想をまとめさせる。 ○道徳の授業 ・「どっちがいいか」を読み, ルールの目的やよさを理解させる。 ○道徳の授業 ・「自分たちができるエコ活動」を読み, ルールの意味とよさ, それを守るためには人の心が大切であることを理解させる。
6月	10. 自分たちができるエコ活動 〔きまりを守る〕 【主】C 規則の尊重 【関連】A 節度, 節制	◎約束や社会のきまりの意義を理解し, それらを守って生活しようとする。 【理解, 判断力】 きまりの意味とよさが分かるとともに, きまりを守るためには心が大切であると理解する。 【心情】 きまりを守ることで得られる豊かで気持ちのよい生活のよさに共感する。 【実践意欲と態度】 きまりの意味とよさを理解し, きまりを守る人とそれによって得られる生活のよさに共感したうえで, きまりを守ろうとする。	1 きまりについて調べたことを紹介し合う。 2 「自分たちができるエコ活動」を読み, きまりを守る意味を考える。 3 きまりの意味についてまとめる。	○道徳の授業 ・「どっちがいいか」を読み, きまりの目的やよさを理解させる。 ○道徳の授業 ・「自分たちができるエコ活動」を読み, きまりを守るには心が大切であることを理解させる。 ○日常生活 ・身の回りのきまりの中で, 守られているものとそうでないものについて, 「時」, 「場所」などの観点を提示し, 調べさせる。また, きまりが守られていない原因や背景について考えさせ, 話し合わせる。
6月	11. ゲームのやくそく 〔友だちをしんじる〕 【主】B 友情, 信頼 【関連】B 相互理解, 寛容	◎相手のことを理解しようと努力することで, 友情や信頼を深め, よりよい友達関係をつくっていかうとする。 【理解, 判断力】 相手の気持ちになって考えることがよりよい友達関係を作るために大切であると分かる。 【心情】 相手の気持ちになって考えることで, 友達の痛みや苦しみなどの気持ちが分かる。 【実践意欲と態度】 友達と理解し合おうとすることで, よりよい友達関係をつくっていかうとする。	1 友達との約束について考える。 2 「ゲームのやくそく」を読んで, よりよい友達関係について考える。 3 よりよい友達関係を築くことについて話し合う。	○道徳の授業 ・「ゲームのやくそく」を読み, よりよい友達関係について考える。 ○学級活動 ・相手の立場に立って考えたり, 互いに理解し合ったりして, よりよい学級をつくろうとする態度で生活させる。 ○日常生活 ・友情について書かれた本を読んで紹介し合ったり, 感想を交流し合ったりさせる。
7月	12. わたしのゆめ 〔自分をかがやかせるために〕 【主】A 個性の伸長 【関連】A 希望と勇気, 努力と強い意志	◎自分らしさに気づき, それを磨き上げて, 自分を輝かせて生きていこうとする。 【理解, 判断力】 自分が, 自分を輝かせるものである「自分らしさ」をもっていることに気づく。 【心情】 「自分らしさ」を磨き上げていこうとすることのすばらしさに心を動かす。 【実践意欲と態度】 自分を輝かせて生きるために, 「自分らしさ」を磨いていこうとする。	1 「自分らしさ」について考える。 2 「わたしのゆめ」を読み, 夢をかなえることと, 「自分らしさ」との関係を考える。 3 「自分らしさ」をこれからどうしたいか考え, まとめる。	○学級活動 ・「自分らしさ」や自分の夢を友達に紹介させる。 ・友達によさを伝えることで, 「自分らしさ」が長所も短所をもち合わせていることに気づかせる。 ○道徳の授業 ・「わたしのゆめ」を読み, 夢をかなえることと, 「自分らしさ」との関係を考えさせる。 ○読書活動 ・「自分らしく生きた」と感じられる人の本を見つけ, その人がどのようにして自分らしさを磨き, 個性を高めていったのかを考えながら読ませる。 ・自分の読んだ本のあらすじや, 考えたことを紹介させる。
7月	13. 早起きは三文の徳 〔時間の使い方を自分で考える〕 【主】A 節度, 節制 【関連】C 規則の尊重	◎時間の使い方をよく考えて行動することの大切さが分かり, 節度ある生活をしようとする。 【理解, 判断力】 時間の使い方を考えて生活することの大切さが分かる。 【心情】 時間を有効に使うことで, 自分の生活がよりよくなることに気づき, 時間を大切にしたいという思いをもつ。 【実践意欲と態度】 時間の使い方を意識して生活しようという意欲をもつ。	1 早起きのよさについて考える。 2 「早起きは三文の徳」を読み, 節度をもって生活することのよさを考える。 3 節度ある生活のよさについてまとめる。	○道徳の授業 ・「早起きは三文の徳」を読んで, 節度をもって生活することのよさを話し合わせる。 ○家庭 ・どうすれば規則正しい生活を送れるか, 家族と話し合わせる。 ○日常生活 ・道徳の授業での学びを生かして, 規則正しい生活を行わせる。 ○朝や帰りの会・学級活動 ・自分の生活の様子を定期的に振り返らせ, それを振り返りシートなどの掲示物にまとめ, 常に意識できるようにする。
9月	14. ブラジルからの転入生 〔よい友だちになるために〕 【主】B 友情, 信頼 【関連】C 公正, 公平, 社会正義	◎友達によさを見つけ, 理解し合い, 信頼関係を築いていこうとする。 【理解, 判断力】 一面的な価値観で友達を見ると, 本当の友達のよさは分からないことに気づく。 【理解, 判断力】 人にはそれぞれ持ち味があり, それを理解することでよりよい友達関係を築くことができることが分かる。 【心情】 互いのよさを認め合うことで, その友達との仲が深まっていく姿に感動する。 【実践意欲と態度】 友達のよい面に目を向けようとしながら生活する。	1 「よい友達になるためのひけつ」について話し合う。 2 「ブラジルからの転入生」を読み, 「よい友達になるためのひけつ」について話し合う。 3 「よい友達になるためのひけつ」について学んだことをまとめ, 話し合う。 4 友達のよいところを探して見つける話し合いをする。	○道徳の授業 ・「ブラジルからの転入生」を読み, 友達のよいところに目を向けることでよりよい友達関係が生まれることを理解させる。 ・「友達のよいところを見つけよう」という課題をもたせる。 ○日常生活 ・「友達のよいところを見つけよう」という課題に取り組ませ, 見つけたよさを発表させる。
9月	15. 石油列車, 東北へ向かって走れ! 〔ささえる人々へのそんけいとかんしゃ〕 【主】B 感謝 【関連】C 勤労, 公共の精神	◎家族など私たちの生活を支えている人々に対し, 尊敬の念をもち感謝する。 【理解, 判断力】 自分たちの生活は, 働く人々の使命感とたゆまぬ努力によって支えられていることが分かる。 【心情】 私たちの生活を支えるために働いている人々の思いを知り, 感動する。 【実践意欲と態度】 人々の生活を支えるために働いている人々に対し, 感謝の気持ちをもって接しようとする。	1 私たちの生活が, どんな人に支えられていると思うか話し合う。 2 「石油列車, 東北へ向かって走れ!」を読んで, 自分たちの生活を支えてくれている人について話し合う。 3 自分たちの生活を支えてくれている人々について話し合う。	○道徳の授業 ・「石油列車, 東北へ向かって走れ!」を読んで, 私たちの生活がたくさんの人に支えられていることについて考えさせる。 ○学級活動 ・「お世話になっている人」について, 学級活動の時間などで話し合わせ, 感謝の気持ちを伝える方法について考えさせる。 ○家庭との連携 ・家族で仕事について話し合わせ, 私たちの身の回りで, 生活を支えている人々について考えさせる。
9月	16. ぼくはMVP 〔自分に正直に〕 【主】A 正直, 誠実 【関連】A 善悪の判断, 自律, 自由と責任	◎自分に不利になることでも, 自分を偽らないで正直に行動しようとする。 【理解, 判断力】 生活していく中で, 過ちや失敗はだれにでもあることが分かる。 【心情】 過ちや失敗をごまかさずに正直に行動することが, 自分も周りも気持ちよく生活できると感じる。 【実践意欲と態度】 自分を偽らずに正直に行動し, 豊かな人間関係を築いていこうとする。	1 「正直」とはどのようなことか考える。 2 「ぼくはMVP」を読んで, 正直に生活するよさについて考える。 3 「正直」について学んだことをまとめる。	○道徳の授業 ・「ぼくはMVP」を読み, 正直に生活するよさについて話し合わせる。 ○帰りの会 ・自分の一日を振り返り, 自分の行動にうそやごまかしがなかったかを振り返らせる。 ○家庭 ・正直に生活することのよさについて家庭で話し合うよう促し, 話し合った内容をノートに記述させる。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
9月	17. 学級新聞作り 〔広い心をもって〕 【主】B 相互理解, 寛容 【関連】C よりよい学校生活, 集団生活の充実	◎広い心を持ち, 相手のことを理解し, 自分と異なる意見も大切にしようとする。 【理解, 判断力】 相手の考えには, 自分の考えにないよさがあることを知る。 【心情】 相手の考えに耳を傾け, それを聞き入れようとする心が大切であることに気づく。 【実践意欲と態度】 広い心を持ち, 異なる意見も大切にしようとする。	1 友達と意見が異なった体験を話し合う。 2 「学級新聞作り」を読んで, 異なる意見を大切にすることについて考える。 3 異なる意見の相手に対してどのように接したらよいか, 自分の考えをまとめる。	○道徳の授業 ・「学級新聞作り」を読んで, みんなでよりよいものを作るためには, どのような心が大切か話し合い, 考えをまとめさせる。 ○学級活動 ・班や係, 話し合い活動などにおいて, 互いの意見を謙虚に聞き合い, 友達の考えのよさに気づけるような体験活動を繰り返し, 広い心で接することの大切さを考えさせる。 ○日常生活 ・児童どうし, または児童と教師が互いの考えや意見を交流し合う機会を設定し, 異なる考えや意見を大切にすることのよさを実感させる。
10月	18. 心の体温計 〔度がすぎないために〕 【主】A 節度, 節制 【関連】A 善悪の判断, 自律, 自由と責任	◎節度ある生活のためにはどのような努力をすればよいのかを考え, 進んで実行しようとする。 【理解, 判断力】 人に言われなくても, 自分の努力でしなければならないことがあることに気づく。 【心情】 自分でできることは自分ですることで, 節度ある生活ができることが分かり, すっきりした気持ちになる。 【実践意欲と態度】 節度ある生活を実行しようという意欲をもつことができる。	1 「度が過ぎる」ということについて考える。 2 「心の体温計」を読み, 「度が過ぎない」ために必要なことを話し合う。 3 「心の体温計」をもった生活について, 具体的にどうふうを考える。	○道徳の授業 ・「心の体温計」を読んで, 節度のある生活について話し合い, 「度が過ぎない」ためのくふうを考える。 ○日常生活 ・道徳の授業で考えた, 「度が過ぎない」ためのくふうを実行させる。 ○朝や帰りの会・学級活動 ・「度が過ぎない」ためのくふうを学級に掲示して意識させ, 実行できているかを定期的に振り返らせる。
10月	19. せきが空いているのに 〔本当の思いやり〕 【主】B 親切, 思いやり 【関連】A 善悪の判断, 自律, 自由と責任	◎相手の気持ちや考えを思いやることの大切さが分かり, だれに対しても親切にしようとする。 【理解, 判断力】 本当の親切とは, 何かをしてあげることではなく, 相手の立場に立ってその人の気持ちを大切にしながら支えることだと分かる。 【心情】 本当の親切をすると, 互いの心が明るくなっていいなと思う。 【実践意欲と態度】 自分も相手の立場や気持ちを考えて, だれにでも進んで親切にしようとする。	1 「親切」について話し合う。 2 「せきが空いているのに」を読み, 親切な行動について考える。 3 生活の中で, 思いやりの心をもつとどんなことができるか話し合う。	○道徳の授業 ・「せきが空いているのに」を読んで, 親切について考えさせる。 ○他教科・総合的な学習の時間 ・高齢者施設や障害者施設, 保育園, 幼稚園, 他学年と「思いやりの心」をもって交流させる。 ○帰りの会 ・相手の立場に立った親切を実践し, 相手に喜ばれたり, 自分もうれしくなったりしたことを紹介させる。
10月	20. 良太のはんだん 〔公正な態度で〕 【主】C 公正, 公平, 社会正義 【関連】B 友情, 信頼	◎だれに対しても分け隔てなく, 公正, 公平な態度で接していこうとする。 【理解, 判断力】 相手によって態度を変えることなく, 公正な判断をすることの大切さが分かる。 【心情】 自分や自分の仲間だけを優先することなく, だれにでも公正, 公平に接する姿に感動する。 【実践意欲と態度】 だれに対しても分け隔てなく, 公正, 公平な態度で接していこうとする。	1 キックベースボールの審判の役割について考える。 2 「良太のはんだん」を読み, 自分の仲間だけを優先しないために大切なことについて考える。 3 みんなで何かに取り組むときに大切なことについて考える。	○道徳の授業 ・「良太のはんだん」を読んで, みんなで何かに取り組むときに大切なことについて考えさせる。 ○朝の会や帰りの会 ・だれにでも同じ態度で接するよう心がけて生活するようにさせ, できたときの気持ちを発表し合わせる。 ○家族との連携 ・だれにでも同じ態度で接することについて, 家族で話し合わせる。
10月	21. みかん出し 〔進んではたらく〕 【主】C 勤労, 公共の精神 【関連】C 家族愛, 家庭生活の充実	◎自らの力をみんなのために生かすことのできる仕事のよさが分かり, 人のために進んで働こうとする。 【理解, 判断力】 働くことで人間が豊かに生活することができることに気づき, 働くことの大切さが分かる。 【心情】 自らくふうして働くことで, 自分の力を十分に発揮でき, 喜びが大きくなることのよさに心が動く。 【実践意欲と態度】 自分のため, 人のために進んで働き, 何かを生み出していこうとする。	1 仕事をするときの気持ちを思い出す。 2 「みかん出し」を読んで, 「進んで働く」ことについて考える。 3 進んで働くことのよさについてまとめる。	○学校での日常生活・家庭 ・学校での自分の仕事や家庭でのお手伝いを通して, 感じたことや考えたことをまとめて発表させる。 ○道徳の授業 ・「みかん出し」を読み, 「進んで働く」ことのよさについて考えさせる。 ○学校における日常生活・家庭 ・学校や家庭での仕事の仕方を見直し, くふうしながら仕事に取り組ませ, 感じたことや気づいたことを発表させる。
11月	22. 雨のバスでいりゅう所で 〔社会のきまり〕 【主】C 規則の尊重 【関連】A 善悪の判断, 自律, 自由と責任	◎周りの人のことを考えてマナーを守ることの大切さを理解し, それらを守ろうとする。 【理解, 判断力】 周りの人たちのことを考えて, マナーを守ることの大切さが分かる。 【心情】 社会のきまりやマナーを守ることの大切さに気づき, 心を動かす。 【実践意欲と態度】 みんなが気持ちよく生活するために, 社会のきまりやマナーを守ろうとする。	1 ルールは何のためにあるのか, 問いをもつ。 2 「雨のバスでいりゅう所で」を読み, ルールが何のためにあるのか話し合う。 3 身の回りにおけるルールやマナーを守らなければならない理由をまとめる。	○道徳の授業 ・「雨のバスでいりゅう所で」を読み, ルールは何のためにあるのかを理解し, ルールを守ろうとさせる。 ○学級活動 ・授業で取り上げた以外の, ルールやマナーを守らなければならない理由について話し合わせる。 ○家庭生活 ・自分の住んでいる地域にあるルールやマナーを調べさせる。 ○朝の会・帰りの会 ・調べたことを紹介させる。
11月	23. 元気がいちばん 〔生きる力〕 【主】D 生命の尊さ 【関連】C 家族愛, 家庭生活の充実	◎生命のもつ力強い生きる力やそれを支えるものが分かり, 自らも生きる力を発揮し, 一生懸命生きていこうとする。 【理解, 判断力】 生命には, 困難や逆境にも負けない力強い生きる力があり, その力は多くの人に支えられていることが分かる。 【心情】 生命のもつ生きる力や, 多くの人に支えられている生命の尊さに感動する。 【実践意欲と態度】 生きる力を発揮して, 一生懸命生きていこうとする。	1 人の成長について考える。 2 「元気がいちばん」を読み, 生きる力について話し合う。 3 自分の生命の「生きる力」について考える。 4 「命を大切に生きる生き方」について, 自分の考えをまとめる。	○道徳の授業 ・「元気がいちばん」を読んで, 生命のもつ「生きる力」について考えさせる。 ○日常生活 ・「生きる力」を使って元気に生きている人を探させたり, 調べさせたりして, ノートにまとめさせる。 ・自分にもある「生きる力」やそのすばらしさを調べさせ, 発表させる。 ○家庭との連携 ・自分の生まれてから今までの成長について, 家族と話し合わせ, 「生きる力」について考えさせる。 ○読書活動 ・生命の力強さや不思議さに関する本を読ませ, 「生きる力」について考えさせる。
11月	24. 鳥にのこしたかきの実 〔動物とくらしに生きる〕 【主】D 自然愛護 【関連】D 生命の尊さ	◎自然の動物も人間と同じように生きていることが分かり, 動物を大切に生活していこうとする。 【理解, 判断力】 動物も人間と同じように, 物を食べたり, 息をししたりして生きていることが分かる。 【心情】 動物も人間と同じように生きているという, 地球上の生命を大切に考える方のよさに心を動かす。 【実践意欲と態度】 自然の動物と共に生きるための人々のくふうを知り, 自分たちも実践していこうとする。	1 自然に生きる動物について考える。 2 「鳥にのこしたかきの実」を読んで自然に生きる動物について話し合う。 3 動物と共に生きるということについてまとめる。	○道徳の授業 ・「鳥にのこしたかきの実」を読み, 人間と動物が共生することについて考えさせる。 ○理科 ・植物が実をつけた後の様子, 動物との関わりについて調べさせる。 ○日常生活 ・身近な動物や植物に興味を持ち, 大切に育てる。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
重点主題：みんなのために何ができるか				
11月	25. 「祭り日」 〔重なり合うように〕 【主】B 友情, 信頼 【関連】C よりよい学校生活, 集団生活の充実	◎協力の意義を知り, 共通の目的をもって, 心を「重ね合わせて」力を発揮しようとする。 【理解, 判断力】 協力には, 共通の目的意識や, バランスよく持ち味を発揮させて助け合うことが大切であると分かる。 【心情】 協力によって目標に近づくことのすばらしさに心が動く。 【実践意欲と態度】 目標に向かって互いに心を「重ね合わせて」, 力を発揮しようとする。	1 「協力」について考える。 2 「祭り日」を読んで, 「協力」について考える。 3 協力するときに大切なものを考える。 4 具体的な取り組みを考える。	○道徳の授業 ・「祭り日」を読み, 「協力」について話し合わせる。 ○係活動 ・「協力」について考えながら活動に取り組み, 考えたことや感じたことを友達どうして話し合わせる。 ○家庭との連携 ・どんな「協力」があるのかについて, 家の人と話し合わせる。
12月	26. 十六番目の代表選手 〔心を一つに〕 【主】B 友情, 信頼 【関連】C よりよい学校生活, 集団生活の充実	◎協力には見える協力だけでなく, 見えない「かげの力」によって支えられ, ものごとを成し遂げられる協力もあることを知り, 励ましや応援を進んで実践しようとする。 【理解, 判断力】 協力には見える協力だけでなく, 見えない「かげの力」によって支えられ, ものごとを成し遂げられる協力もあることを知る。 【心情】 見えない「かげの力」によって支えられ, ものごとを成し遂げられる協力のよさに心を動かす。 【実践意欲と態度】 自分も見えない協力, 励ましや応援を進んで実践しようとする。	1 応援という協力について考える。 2 「十六番目の代表選手」を読んで「かげの力」による協力について考える。 3 応援で力を分けてくれる人と, 自分たちの行動について考える。	○道徳の授業 ・「十六番目の代表選手」を読み, 応援という協力について考えさせる。 ○体育 ・どのような「協力」の仕方がよいかを考え, 生かすよう促す。 ○学級活動 ・実際に行った協力について振り返り, 自分には何ができるのかを考えさせる。
12月	27. ノーベル賞の生みの親 アルフレッド・ノーベル 〔やりとげの心と力〕 【主】A 希望と勇気, 努力と強い意志 【関連】C 勤労, 公共の精神	◎あきらめずに探求し続けることで何かを成し遂げることができる力があることに気づき, 目標に向かって努力しようとする意欲と希望をもつ。 【理解, 判断力】 何度も失敗とくふうを繰り返すことで成し遂げられることがあると分かる。 【理解, 判断力】 そのような力が自分にもあり, 自分を伸ばす大事な力であることに気づく。 【心情】 目標に向けて絶えず努力することのすばらしさに感動する。 【実践意欲と態度】 自分には何ができるか, 何がしたいのかを考え, それに向かって努力しようという意欲をもつ。	1 「頑張る力」について考える。 2 「ノーベル賞の生みの親」を読み, 努力について考える。 3 頑張ることのよさについてまとめる。	○道徳の授業 ・「ノーベル賞の生みの親」を読み, 努力のよさについて話し合わせ, 自分の頑張っていきたいことについて考えさせる。 ○日常生活 ・自分の目標とそれに向かう活動計画をカードなどに書き込ませ, いつでも見られるように掲示する。 ○総合的な学習の時間 ・自分の目標を決めさせ, それを達成するための活動を行わせ, 定期的に振り返らせる。
1月	28. えがおの花大作戦 〔明るく楽しいクラス・学校づくり〕 【主】C よりよい学校生活, 集団生活の充実 【関連】C 勤労, 公共の精神	◎先生や学校の人々を敬愛し, みんなで仲よく協力し合って, 明るく楽しい学級や学校をつくらうとする。 【理解, 判断力】 明るい学級や学校をつくらうとする気持ちを持ち, 自分にできることを一人ひとりが考え, 進んで行動することの大切さが分かる。 【心情】 明るい学級や学校をつくらうとする気持ちをもって, 自分にできることを一人ひとりが考え, 進んで行動するよさを感じる。 【実践意欲と態度】 明るく楽しい学級や学校をつくるために, 自分にできることを進んで行おうとする。	1 明るく楽しいクラスや学校について話し合う。 2 「えがおの花大作戦」を読んで, 明るく楽しいクラスをつくらうために大切なことを考える。 3 明るく楽しいクラスや学校をつくるために大切なことをまとめる。	○学級活動 ・学級目標に向かってさまざまな活動を行わせ, その中で出た問題点を解決するための学級会を開き, 新しいルールや方法を考え, くふうさせる。 ○道徳の授業 ・「えがおの花大作戦」を読み, 明るく楽しいクラス・学校をつくるために大切なことは何かを考えさせる。 ○学級活動・帰りの会 ・係や当番等の活動において, 明るく楽しいクラス・学校をつくるための活動をさせ, そのような友達を見つけて紹介させる。
1月	29. 百羽のつる 〔本当の美しさ〕 【主】D 感動, 畏敬の念 【関連】B 親切, 思いやり	◎美しく気高いものに感動する心を大切に, より耕していこうとする。 【理解, 判断力】 自分にも美しく気高いものに感動する心があることに気づく。 【心情】 心と心とが強く結び合っている様子に心を動かす。 【実践意欲と態度】 美しく気高いものを見つけて, 自分の心を耕していこうとする。	1 「美しいもの」とは何かを考える。 2 「百羽のつる」を読んで, 「美しいもの」にはどんなものがあるのか考える。 3 「美しいもの」にはどんなものがあるかを改めて考える。	○道徳の授業 ・「百羽のつる」を読み, 「美しいもの」について話し合わせる。 ○読書活動 ・同じ「美しいもの」が書かれた本を友達と紹介し合い, それを読んだ感想を友達と交流させる。 ○日常生活 ・新聞やテレビなどで, 「美しいもの」を探し, 見つけたものを友達に紹介させる。
2月	30. ぼくの生まれた日 ドラえもん 〔生まれた日のこと〕 【主】C 家族愛, 家庭生活の充実 【関連】D 生命の尊さ	◎自分が誕生したときの家族の喜びを知り, これからの生活で家族を喜ばせて生きていこうとする。 【理解, 判断力】 子どもの誕生や成長は家族にとってかけがえのない喜びであることが分かる。 【心情】 家族がもつ愛情や願いのあたたかさに心が動く。 【実践意欲と態度】 家族の愛情や願いに応え, 家族を喜ばせて生きたいと思う。	1 家族のよさを考える。 2 「ぼくの生まれた日」を読み, 家族のよさを考える。 3 親からの手紙を読み, 自分が生まれたときの親の願いを知り, 感想を発表する。	○家庭 ・家の人に趣旨を説明し, 思いや願いを手紙に書いてもらう。 ○道徳の授業 ・「ぼくの生まれた日」を読み, 自分が誕生したときの家族の喜び, 思いや願いを知る。 ○日常生活 ・自分が生まれたときの様子を, 家の人にインタビューしてまとめ, それを友達と交流して感想を伝え合わせる。 ○総合的な学習の時間 ・「2分の1成人式」で, 今までの自分を振り返らせ, これからの生き方について考えさせる。
2月	31. 図書館で 〔見えないきまり〕 【主】C 規則の尊重 【関連】C よりよい学校生活, 集団生活の充実	◎約束や社会のきまりの意義を理解し, それらを守って生活しようとする。 【理解, 判断力】 社会にあるみんなが気持ちよく生活するための見えないきまりの意味とよさが分かる。 【心情】 心が落ち着き, 他と信頼し合えるという見えないきまりのよさに共感する。 【実践意欲と態度】 みんなが気持ちよく生活するために見えないきまりを守ろうとする。	1 「見えないきまり」とは何かと, 問いをもつ。 2 「見えないきまり」を読み, その意味やよさについて考え合う。 3 「見えないきまり」のよさについてまとめる。	○道徳の授業 ・「図書館で」を読み, 「見えないきまり」の意味やよさについて考えさせる。 ○家庭や地域 ・地域における交通・環境保全・地域行事等における「きまり」や家庭における「きまり」について調べ, まとめさせる。 ○学級活動 ・調べたきまりの中に「見えないきまり」があるかを確認, 新聞にまとめさせる。
2月	32. お礼の手紙 〔気持ちをつたえるためのかたち〕 【主】B 礼儀 【関連】B 感謝	◎礼儀の大切さを知り, だれに対しても真心をもって接することができる。 【理解, 判断力】 相手のことを思った言葉づかいの大切さが分かる。 【心情】 だれに対しても, 真心を込めた礼を尽くすことで, 自分の気持ちがより伝わることを感じ取ることができる。 【実践意欲と態度】 だれに対しても真心を込めた行動をしようとする。	1 相手による手紙の書き方の違いについて考える。 2 「お礼の手紙」を読み, 礼儀のよさについて話し合う。 3 礼儀のよさについてまとめる。	○道徳の授業 ・「お礼の手紙」を読み, 礼儀のよさについて話し合う。 ○学級活動 ・自分たちの身の回りで, 自分たちを支えてくれる人にはどんな人がいるかを話し合わせ, その人たちがどんなことをしているかを調べさせる。 ○国語 ・国語の単元と関連させて, 普段会わない人やお世話になった人に手紙を書かせる。 ・道徳の時間に学んだことが生かされているか, 友達どうして振り返らせる。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
2月	33. さくらのかけ橋 〔国をこえてつながる心〕 【主】C 国際理解, 国際親善 【関連】C 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	◎他の国の人々や文化に親しみ, 関心をもつ。 【理解, 判断力】 他国には, その国独自の文化があることを知る。 【心情】 他国の文化は, 自国の文化と同じように大切であることに心が動く。 【実践意欲と態度】 他国の文化に親しみをもって, それらを尊重しようとする。	1 自分たちの知っている国について考える。 2 「さくらのかけ橋」を読んで, 自国と他国の文化について話し合う。 3 他国と日本のつながりを考え, 学習のまとめをする。	○外国語活動・総合的な学習 ・他国の文化や国際的な行事について調べて紹介させる。 ○道徳の授業 ・「さくらのかけ橋」を通して他国には自分たちと同じように大切にしている文化があることを理解させる。 ○総合的な学習の時間 ・外国について調べてノートにまとめさせ, 伝え合い, 交流させる。
重点主題: みんなの命				
3月	34. レスキュー隊 〔命をすくう〕 【主】D 生命の尊さ 【関連】C 勤労, 公共の精神	◎生命の重さが分かり, 生命を大切に生きていこうとする。 【理解, 判断力】 自らの生命を危険にさらしても救わねばならぬほど, 生命は重いものであると分かる。 【心情】 生命を救う仕事に当たる人の情熱や, それほどの情熱をかける生命の重さに感動する。 【実践意欲と態度】 生命を大切に生きていこうとする。	1 生命をかけて人を救うことについて考える。 2 「レスキュー隊」を読み, 生命の重さについて考える。 3 生命の価値について考える。 4 生命を大切に生きる生き方についてまとめる。	○道徳の授業 ・「レスキュー隊」を読み, 生命の重さについて考えさせる。 ○日常生活 ・生命を救う仕事について調べさせ, その仕事内容や仕事に携わる人々の思いなどをノートにまとめさせる。 ○読書活動 ・「生命を救うこと」に関する本を読み, 生命の重さについて考えさせる。 ○道徳の授業 ・「五百人からもらった命」を読み, 生命の尊さについて考えさせる。
3月	35. 五百人からもらった命 〔一人の命の大切さ〕 【主】D 生命の尊さ 【関連】B 親切, 思いやり	◎生命の重さが分かり, 生命を大切に生きていこうとする。 【理解, 判断力】 多くの人々が助けたいと願うほど, 生命は尊いものであると分かる。 【心情】 生命を助けたいと願う気持ちのつながりや, それほどの思いで救う生命の尊さに感動する。 【実践意欲と態度】 尊い生命を大切に生きていこうとする。	1 命について考える。 2 「五百人からもらった命」を読み, 生命の尊さについて話し合う。 3 生命の尊さについてまとめる。	○道徳の授業 ・「レスキュー隊」を読み, 生命の重さについて考えさせる。 ○日常生活 ・生命を救う仕事について調べさせ, その仕事内容や仕事に携わる人々の思いなどをノートにまとめさせる。 ○道徳の授業 ・「五百人からもらった命」を読み, 生命の尊さについて考えさせる。 ○日常生活 ・自分たちが, これから生命を大切にするためにできることを考えさせる。
付録	36. 心にブレーキ 〔心にブレーキ〕 【主】A 善悪の判断, 自律, 自由と責任 【関連】C 規則の尊重	◎自分でしてよいこととしてはいけないことを判断し, 正しいと思ったことは自信をもって行おうとする。 【理解, 判断力】 自分の楽しさだけではなく, 周りの人のことを考えて, してよいこととしてはいけないことを自分で判断して, 実行することが大切だと分かる。 【心情】 してよいこととしてはいけないことを自分で判断して実行することのよさを感じる。 【実践意欲と態度】 周りの人のことを考えて, 自分が正しいと思ったことは自信をもって行おうとする。	1 普段の自分たちの生活を振り返る。 2 「心にブレーキ」を読み, してよいこととしてはいけないことについて考える。 3 自分の弱さに負けないために大切なことを考える。	○特別活動 ・いけないと分かっているのに, ついやってしまうことにはどんなことがあるか聞いておく。 ・朝の会で「こんなときどうする?」と善悪の判断が必要な場面を模擬提示し, ペアトークさせる。 ○道徳の授業 ・「心にブレーキ」を読み, してはいけないことについて話し合わせる。 ○日常生活 ・自分の弱さに負けないためにはどうすればよいのか, ノートにまとめたことを実行させる。 ・「してよいこと」と「してはいけないこと」を, 自分で考えて実行できている人を発表させる。
付録	37. とべ! ペットボトルロケット 〔自分のゆめをもつ〕 【主】A 希望と勇気, 努力と強い意志 【関連】B 友情, 信頼	◎自分で決めた夢や希望, 目標に向かって, 強い意志をもち, 粘り強く努力しようとする。 【理解, 判断力】 夢や希望, 目標をもつことのよさに気づき, 達成するためには強い意志と粘り強い取り組みが必要であることを知る。 【心情】 強い意志をもって粘り強く取り組むことで自分を高めることになるということに心が動く。 【実践意欲と態度】 自分で決めた夢や希望, 目標に向かって, 強い意志をもって, 粘り強く努力しようとする。	1 自分の夢や希望について考える。 2 「とべ! ペットボトルロケット」を読み, 夢をもつということについて考える。 3 夢や希望, 目標をもって努力することのよさをまとめる。	○道徳の授業 ・「とべ! ペットボトルロケット」を読み, 夢や希望, 目標をもつこと, それに向かって努力することのよさに心を寄せる。 ○総合的な学習の時間 ・自分の夢や目標を紙に書き, それをどのように達成するか計画を立て, 友達どうして紹介させる。 ○日常生活 ・学校行事や学年行事などで目標をもって活動に取り組ませ, 振り返らせる。
付録	38. ぼうや, 生きていてくれよ 〔かんしゃの心〕 【主】B 感謝 【関連】D 生命の尊さ	◎自分はいろいろな人々に支えられていることを知り, それらの人々に尊敬と感謝の念をもって生活しようとする。 【理解, 判断力】 自分たちの生活を支えるために, たくさんの人が昼夜を問わず働いていることが分かる。 【理解, 判断力】 それらの人々が, 人々を支えることを喜びや生きがいとして仕事をしていることが分かる。 【心情】 危険を顧みず, 命を救った人の心や行為に感動する。 【実践意欲と態度】 自分たちを支えてくれている人々の心や行為に尊敬の念を抱き, 感謝して生活していこうとする。	1 消防士はどんな気持ちで働いているかを想像し, 話し合う。 2 「ぼうや, 生きていてくれよ」を読み, 岡村さんの思いについて話し合う。 3 人々を支えるために働いている人が他にもいないか話し合う。 4 働く人々に対する自分の考えをまとめ, 話し合う。	○社会科 ・「人々の仕事とわたしたちの暮らし」について学習させ, 消防士の仕事内容や思いを理解させる。 ○道徳の授業 ・「ぼうや, 生きていてくれよ」を読み, 消防士の思いを理解させ, 生活を支えてくれている人への尊敬と感謝の心をもたせる。 ○日常生活 ・働いている人の考えや思いについて調べて発表させたり, 調べた人たちに手紙を書かせたりする。
付録	39. かつおぶし 〔身近にある伝統文化〕 【主】C 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度 【関連】C 家族愛, 家庭生活の充実	◎郷土の伝統と文化にある知恵や思いを知り, それを大切に, 親しみをもって関わろうとする。 【理解, 判断力】 郷土の伝統と文化に込められた, 多くの人々の知恵や思いとそのよさを知る。 【心情】 郷土の伝統と文化には, 多くの人の知恵や思いが詰まっていることに心が動く。 【実践意欲と態度】 郷土の伝統と文化を大切に, 親しみをもって関わろうとする。	1 身近にある伝統や文化について考える。 2 「かつおぶし」を読み, 伝統や文化とそこにあるよさについて考える。 3 身近にある伝統や文化のよさをまとめる。	○社会科・総合的な学習 ・地域行事や伝統的行事などについての学習を書きまとめさせる。 ○道徳の授業 ・「かつおぶし」を読み, 郷土の伝統と文化にあるよさを理解させる。 ○地域 ・地域に伝わるものにどのようなものがあるかを調べて, ノートにまとめさせる。
付録	40. 誠の碑 〔命を守る〕 【主】D 生命の尊さ 【関連】C 勤労, 公共の精神	◎生命の尊さを知り, 生命あるものを大切にしようとする。 【理解, 判断力】 自分の周りには, たくさんの人が互いの生命を大切に思い, 命を支えてくれていることが分かる。 【心情】 互いの生命を大切に思い, 命を支えてくれている人の一途な思いに心が動く。 【実践意欲と態度】 自他の生命の尊さを感じ, 大切に生きていこうとする。	1 「命を大切にしよう」ということについて考える。 2 「誠の碑」を読み, 命を助ける行動について話し合う。 3 宮本さんのような人が, 自分たちの周りにもいないか考える。 4 「命を大切にしよう」とはどのようなことかまとめる。	○総合的な学習の時間 ・自分たちの安全を守る仕事に就いている人や, 身を守ってくれているもの・ことについて調べさせる。 ○道徳の授業 ・「誠の碑」を読み, 命を助ける行動と命を大切にすることについて考えさせる。 ○日常生活 ・自分たちの周りで命を大切にしている人を探させる。